

# 人類に奉仕するロータリー

## Rotary Serving Humanity

平成28年9月28日 第2,385回 No. 2,143号

会長：宮澤 与一 ・ 幹事：鷺澤 幸一 ・ 会員サービス委員長：岩本 弘  
E-mail：neast-rc@valley.ne.jp  
URL：http://www.valley.ne.jp/~neast-rc/

### 《ゲスト紹介》

- 国際ロータリー第2600地区  
ガバナー 原 拓男様
- 北信第二グループ  
ガバナー補佐 脇田 綱雄様
- 地区副幹事 宮沢 彰博様

### 《ロータリーソング》

- 奉仕の理想

### 《会長報告》

- 皆さんこんにちは、16、17日の我が東ロータリークラブ50周年記念、物故者法要、記念式典には原実行委員長をはじめ各部長、田中事務局長、会員全員の皆様のご尽力をいただき無事に終了できました事を感謝申し上げます。

本年度の重点項目であります「メンバー全員で創立50周年を祝いましょう」「周年事業を成功させ、次なる50周年を創造しましょう」の達成が見えてきました。本当にありがとうございました。

本日は国際ロータリー2600地区、2016～2017年度原拓男ガバナーをお迎えしております。

原ガバナーには公式訪問前に、50周年式典にご出席をいただいて式辞を頂戴しております。ここで原ガバナーのご紹介をさせていただきます。所属クラブは佐久ロータリークラブ、1945年1月21日生まれ71歳、ご趣味は、ゴルフ、音楽鑑賞、歌、そしてお酒大好き人間の酒豪であります。職業分類は清酒製造、千曲錦株式会社・相談役です。ロータリー歴は2004年10月佐久RC入会、2013-

14年クラブ副会長、2014-15年クラブ会長、2015-16年地区資金委員会、青少年育成基金委員会、オンツーツウル、PHF、米山功労者です。ガバナーにおかれましては、中学生から成城大学までバスケットボールをおやりになり、平成元年佐久高校バスケットコーチ、平成11年日本バスケット協会理事、平成15年日本バスケットボール女子強化部長に就任、平成16年にはアテネオリンピックに出場しております素晴らしい指導者、スポーツマンであります。

地区プログラムでのガバナーのご挨拶は簡潔、明快にロータリーの価値観を述べられております。地区標語を「Basic&New!」（原点に返り新たな革命）行動指針を「長所を認め合い絆を深めよう」をかかげられました大変感銘を受けております、本日例会で詳しくお話をいただけたと思います。どうか原ガバナーには、色々な面でご指導をお願い申し上げます。

改めまして、原ガバナーには、公式訪問をいただきましたこと、クラブ一同歓迎申し上げます。ご同行いただきました、50周年記念式典にもご参加いただきました脇田綱雄ガバナー補佐、また宮澤地区副幹事に御礼申し上げます。

本日の会長報告は、50周年記念式典の御礼と、ガバナー公式訪問についてとさせていただきます。ガバナーがいらっしゃっておりますので、ロータリーの事も少しだけ申し上げます。9月も残り少ないですが、月初にお話ししました今回は、基本的教育と識字率の向上月間、ロータリーの友の月間ですのでよろしく申し上げます。

## 《幹事報告》

### ○ 例会変更のお知らせ

長野RC 10月11日(火) 地区大会に振替の為、休会いたします。  
11月1日(火) 北信第一グループLMに振替の為、休会いたします。  
11月29日(火) 理事会の決定により休会いたします。  
\*いずれも定刻受付はいたしません。

上田RC 10月17日(月) 東近江RC歓迎夜間例会の為、時間を変更いたします。  
10月31日(月) 丸子RCとの合同夜間例会の為、時間を変更いたします。  
\*いずれも定刻受付をいたします。

- 10月16日に地区大会が開催されます。ご存じのとおり来年は当クラブがホストクラブとなります。どんなものか大勢の皆様にご覧いただきたいと思っております。また、大会の最後には宮澤会長が大会の旗を受け取るセレモニーもごございますので、不参加でお返事をされた方も、再検討をして頂ければと思います。よろしくお願ひいたします。

## 《出席報告》

本日	出席	欠席	出席率
会員数 57名	29名	28名	50.87%
前々回 9月7日		訂正出席率	92.15%

## 《ニコニコボックス》

在籍賞：今井 用一君

- 過日、記念式典にて在籍賞をいただきました。お陰様です。 中澤 勝君
- 原ガバナーのご来訪に感謝して。  
横田 一尊君
- 創立50周年法要・式典・祝賀会大成功おめでとうございます。 夏目直前会長
- 原ガバナー並びに脇田ガバナー補佐のご来訪、心より歓迎申し上げます。また先日の50周年記念式典にお忙しい中ご臨席いただき祝辞を頂戴し、ありがとうございました。  
会長エレクト・2600地区社会奉仕委員長  
田中 清一
- 創立50周年記念式典ありがとうございました。  
宮澤会長

- 50周年おつかれ様でした。原ガバナーにはひきつづきご来訪をしていただきありがとうございます。今日はよろしくお願ひします。 宮澤会長 鷺澤幹事 千野SAA

## 《本日のプログラム》

- ガバナー公式訪問  
国際ロータリー第2600地区  
ガバナー 原 拓男様



## 《10月5日のプログラム》

- クラブフォーラム

## 《10月5日のメニュー》

- 新そば定食(そばおかわり自由)
- ・天ぷら  
海老 舞茸 金糸瓜 シシトウ 天汁
  - ・炊き合わせ 冬瓜 生姜根 茄子生姜  
赤パプリカ そぼろあん
  - ・ネギトロ巻き レッドオニオン とびこ  
マヨネーズ
  - ・新そば
  - ・果物

## = 次週例会予告 =

## 《10月12日のプログラム》

- 米山記念奨学生卓話  
陳 雪さん(あづみ野ロータリークラブ)

## 《10月12日のメニュー》

- 洋コース
- ・ピンチョウマグロのカルパッチョ
  - ・信州牛のビーストロガノフとバターライス
  - ・紅茶のジュレ フルーツ入り
  - ・コーヒー

1. RI テーマ「人類に奉仕するロータリー」(Rotary Serving Humanity)

2. 2600 地区方針及び行動指針

地区標語「Basic & New! (原点に返り新たな改革を)」 行動指針「長所を認め合い絆を深めよう」

3. 重点事業 (地区プログラム P9)

I. 会員増強 (目標) 各グループ純増 10 名、合計 90 名

この数年 2000 名の会員確保に苦慮している状況は 2600 地区の最大の課題点

会員増強をする為には例えば

①ロータリーが果たした役割を多くの人に知って貰うこと。

②ロータリーとは何か、何に取り組んでいるかをクラブを通じて地域社会に情報を広げる。

③クラブの全会員がロータリーへの入会がロータリーの奉仕を通じて地域の為、人類の為に良い世界を築く機会である事を認識し増強を計る。

II. CLP の運用によるクラブの強化

III. 職業奉仕の見える化

会員が小、中、高の学校で自分の職業に関する話をする

(ロータリーを知って貰う⇒将来の会員増強)

4. 継続事業

I. ロータリー財団への寄付 (ポリオの撲滅を含む)

今年度はロータリー財団設立 100 周年の記念すべき年です。財団 100 年の歴史は、1917 年 6 月 18 日アメリカジョージア州アトランタで開催された第 8 回年次大会での RI 会長アーチ・クランプの「世界で良い事をする為に基金を作るのが適切だと思われる」という言葉から始まりました。

その後基金に初の寄付 26 ドル 50 セントが寄せられ財団がスタートし、100 年間に世界中の何千という地域社会に 30 億ドルを提供してきました。100 周年はロータリアンや世界中の人々にとって R 財団の人的活動の大きな歴史を振り返る絶好の機会です。

その歴史の重要な事の一つが 2 人の日本人ロータリアン山田ツネさんと峰英二さんが提唱したポリオの撲滅です。ポリオは現在アフガニスタンとパキスタンで 16 例が報告されただけで、本当にあと少しで撲滅できます。

因みに、来年 6 月 10 日～ 14 日財団発祥の地アトランタで国際大会が行われますので、当地区からも多く皆様に出席をお願いしたいと思います。ロータリーの友 7 月号の横読み P44～45 に「R 財団 100 周年を祝う」という記事が掲載されていますので一読ください。

さて、昨年度は財団への寄付は一人 150 ドル、ポリオ撲滅に 500 円、平和センターに 500 円という金額をお願いしていましたが、100 年に一度というこの周年を記念して一人 150 ドルの他ポリオに 40 ドル、平和センターに 10 ドル合計 200 ドルの寄付をお願いします。(実質は 4 千円ほどの上乗せ) 2016-2017 年度ロータリーの目標 (地区プログラム P9 参照)

お願いばかりで大変申し上げにくく、又心苦しいのですが、申し上げない訳には行きませんので申し上げます。1920 年 10 月 20 日東京 RC が設立総会を行い米山梅吉氏が初代会長に就任し、ここから日本の RC の歴史が始まり 2020 年、東京オリンピックの年に 100 周年となります。そのため昨年「日本のロータリー 100 周年委員会」が立ち上げられました。そして今年度が始まる 7 月 1 日に東京で第 1 回ガバナー会議が開催され、議題の一つにこの 100 周年委員会の予算が上程されました。予算総額は 1760 万円で内訳は人件費 650 万円、事務所経費 240 万円、備品費 100 万円、三つの委員会費 550 万円、予備費 220 万円です。寝耳に水の様なこの件に対し各クラブで既に予算も立てられている事もあり我々ガバナーから多くの反対意見が出されましたが最終的には 100 周年という周年事業をやらない訳にはいかないだろうという結論に至りました。

その結果、今年度は約 88000 人の会員に一人 200 円の拠出をお願いするという事になりました。予算書では納入期限は 10 月末日となっていました、降って湧いた様なこの件を各クラブをお願いし理解を戴くにはガバナーが公式訪問で直接お願いするしかないという事で納期は来年 4 月か 5 月に延期して貰いました。

今更大変心苦しいお願いで恐縮ですが、考えてみれば日本のロータリー 100 周年を祝う事は我々ロータリアンにとって大きな節目のお祭りのような事であり、公共イメージの向上には絶好の機会ととらえるべきだと思います。会員の皆様には異論もおありかと思いますがご協力を是非宜しくお願い致します。

次に、3 年に 1 度開催される規定審議会がシカゴで開催され当地区からは堀川浩 PG が代議員として出席されましたがご承知の通り今回は大きな変革がありました。一部の会員の皆様はロータリーに失望したやの発言もあるとお伺いしましたがこの変革を否定的に捉えるのではなくむしろ自分たちのクラブをより良くする為の自主権が多くなったと肯定的に捉えて欲しいと思っています。

例えば例会に柔軟性を持たせる件についてはクラブフォーラム等で全員で議論し、その決定が自分たちのクラブにとってより良いと思われるならばその方向性を決めるのは各クラブ自身です。

但し今期は既に始まっておりますので、この一年しっかり議論して欲しいと思います。地区研修・協議会でも申し上げた個人的な意見ですが、私は「四つのテスト」の内三番目の「好意と友情を深めるか」を一番大事にしています。毎週例会で友と逢い語らい知らなかった知識を得るのはとても楽しみです。

最後に東京 RC の今年度のテーマは「Enjoy Rotary」です。楽しくなければロータリーではありません。皆さんロータリーを楽しみましょう。ご清聴ありがとうございました。